

## 第8回 通常総代会 終了しました。

6月19日（月）総代●名の出席のもと、第8回通常総代会を開催し、全議案賛成多数で可決されました。事前提出と合わせて、意見・質問もあり、実りある総代会となりました。

また、総代会終了後には、ぐるぐるびわ湖プロジェクトで共に活動している NPO 法人蒼いびわ湖の代表理事村上悟氏の「やっぱりびわ湖が好き～琵琶湖とせっけん運動と私～」講演会が行われました。こちらも多く組合員の参加があり、質疑応答でも大いに盛り上がりました。

総代会、村上氏の講演については、後日さざなみ号外にて詳しくお伝えします！



### ☆さざなみ ぎもん・お悩みズバツと解決コーナー☆

Q：魚の切り身が小さく感じます。消費材の魚の加工はどうされているのですか？

A：～専務に聞きました～

一般的に、魚は、どこで水揚げされ、どのように加工されたのか、分からないものが多いです。他の消費材と同様、誰が釣りあげ、水揚げがどこで、どのように加工されたのかがわかる魚をお届けしています。例えば、「さわら切り身」の案内には「東シナ海または日本海西部」と、漁場がはっきりと示されています。

次に、大きさですが、生産者との約束で、重量の最低基準（それ以上というg数）を決めています。「さわらの切り身4切れ」ですと、320g以上という約束があり、4切れなので1切れ80g程度となります。

消費材の基準は、組合員と生産者がお互いに話し合っ決めて決めるものですので、もう少し大きくという声が多いとなれば、基準を100g以上にねという要望が出せると思います。その後は、取れる魚の大きさとの関係、加工の技術、機械が対応できるか、そして、g数をあげることで利用が伸びるのかというようなことを話し合い、消費材開発が行われます。わたしたちが、まずは産地を訪問し、生産者と話しをするところから始められれば面白いと思います。

### ☆生活クラブに関する疑問や、子育てに関する悩み事などを募集しています☆

いただいた疑問などは、回答を相談してから掲載していきます。

切り取って、配送担当にお渡しください

さざなみ ぎもん・お悩みズバツと解決コーナー♪

今回は書けるスペースがありません。メモなど、書いていただいたものにこの紙をつけて出してください。

お名前（ ）

さざなみにお名前を掲載してよろしいですか？（はい・いいえ）



# 7月 スケジュール案内



日	月	火	水	木	金	土
						7/1
2	3 GM ホントノコト 講演会	4	5	6 広報委員会	7 ふじいさんを 囲んで	8
9	10 雨水タンクツアー	11 NON-GM 委員会	12 常任理事会 湖東学区会 堅田学区会	13 大津特別学区会 北野学区会	14 湖南特別・ローズ タウン合同学区会	15
16	17	18	19	20	21 びわ湖環境委員会	22
23	24	25	26 仰木学区会	27	28 和邇学区会 信楽学区会	29 せっけん40周 年集会
30	31 理事会					

## .. 月 .. ☆ .. 月 .. ☆ 編集後記 ☆ .. 月 .. ☆ .. 月 .. ☆ ..

いやはや、便利な世の中です。往時のいたるところで、トイレの便座が自動で開きます(ネム、毎回ピクッとなるんですが、何かよい文才の法はないですか?) ちょっと言周べもの♪とインターネットを開けば、検索スペースに一文字入力するだけで、ネムの言周べたい言葉が予選りされズラズラ出てきます(便利だけど、何となくくやしい気持ちになるのはネムだけでしょうか?) 一言先によると、今後ますますAIが進歩し、将来私たちは家事の負担から解放されたり、仕事の形、住まいの在り方まで一変してしまうとも言われています。今、当たり前だと思っている事柄が、きつものずいスピードでどんどん変わっていくのでしょね。もはや、予選り不能。子どもの行動と同じですわ(笑) そんな便利で恵まれた環境の中で、これから大人になっていく子どもたちに必要な事として、「自分で食っていくようになること」があるように思います。これは、いわゆる「自立して、稼いで、生活していくようになる」の意味合いで、はたして、文字通り「自分で食べ物育て、米料理し、食べていくようになる」こと。食は、便利さにかまけてはいけな、人間にとって大切なことですから。

### 今月の名言



びわ湖の魚を  
食べましょう!

by. 村上 悟さん

講演会の後の  
質疑応答にて  
「びわ湖の汚染など、  
により、大切な魚が、  
食べられなくなったら困ります。  
私たちにできることは  
何ですか?」と問われて...

先日無事に開催された通常総代会の後、NPO碧いびわ湖の村上 悟さんの講演を聴きました。「子どもと沼が笑っている未来」を目指し、びわ湖を舞台に、石けん運動を始め住まいのこと全般に渡り、暮らしをつくる活動がされています。便利さとは裏腹に、環境やエネルギーなど多くの問題を抱える現代の村上さんは、自立循環型社会をテーマに暮らしを良くするためのアイデアを語ってくださいました。その実践は、生活を潔くするための楽しい土掛けを思いついた少年のようでした。そんな村上さんも参加される「雨水タンクツアー」が、今月10日開催されます。雨水を洗たくに利用すると、汚れ落ちもよく、とても経済的なんだから、エコと楽しさが組み合わさったワクワクする工夫。トイレの水にも再利用できそうですね!! 便座は手動の方が「良いですか?」 2019.6 mayu